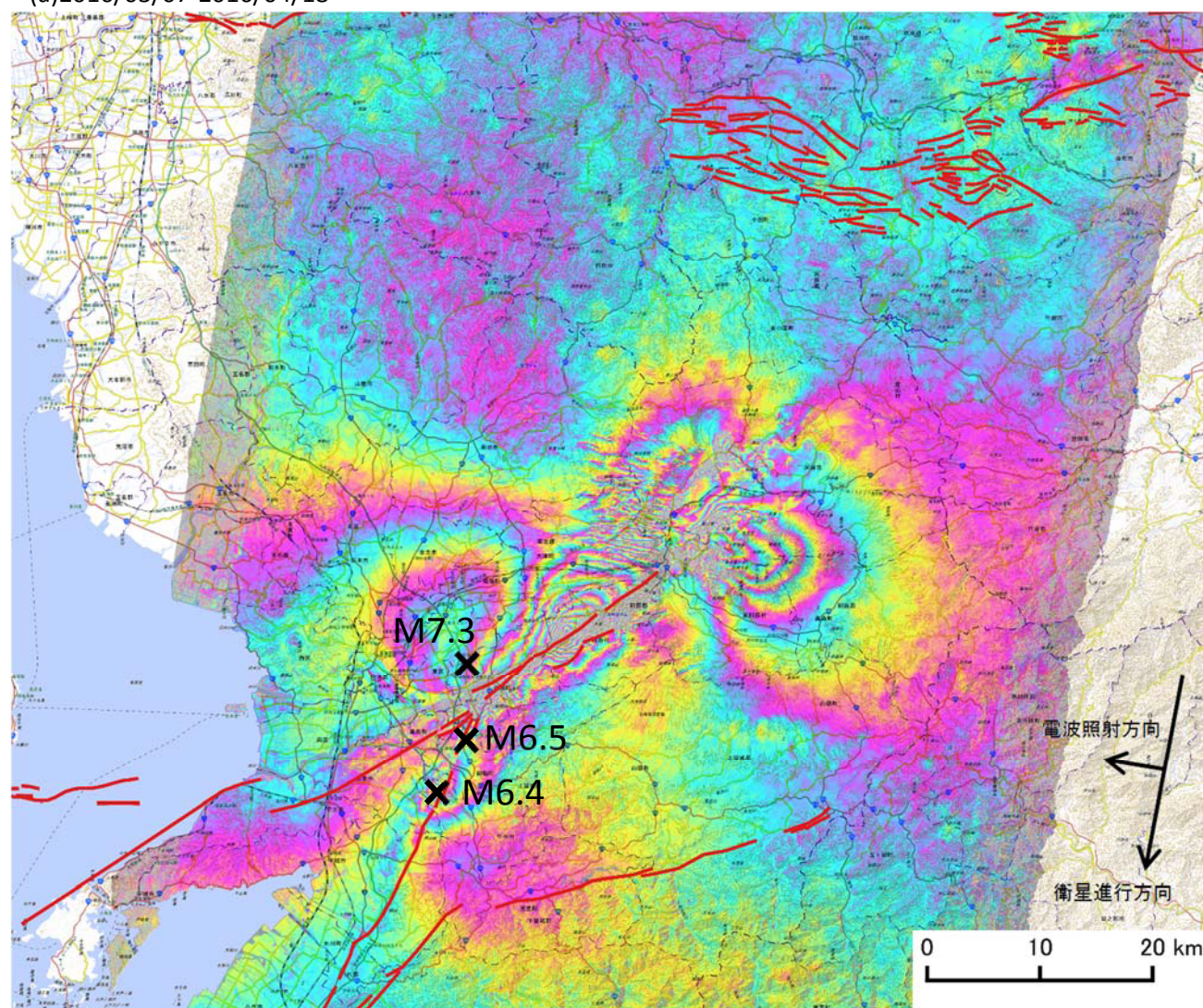


平成 28 年熊本地震 「だいち 2 号」による地殻変動分布図

だいち 2 号のデータを用いた SAR 干渉解析により、地殻変動が面的に明らかとなった。前震では日奈久断層帯沿い、本震では布田川断層帯及び日奈久断層帯に沿って、顕著な地殻変動が検出された。得られた地殻変動の特徴から、布田川断層帯及び日奈久断層帯において右横ずれ断層運動が生じたものと考えられる。前震、本震以外にも、余震に伴う地殻変動も検出されている。

(a)2016/03/07-2016/04/18



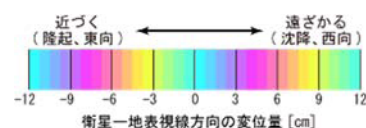
— 活断層(地震調査研究推進本部)

× 震央

2016/04/14 21:26 深さ 11km M6.5

2016/04/15 00:03 深さ 7km M6.4

2016/04/16 01:25 深さ 12km M 7.3



解析：国土地理院 原初データ所有：JAXA

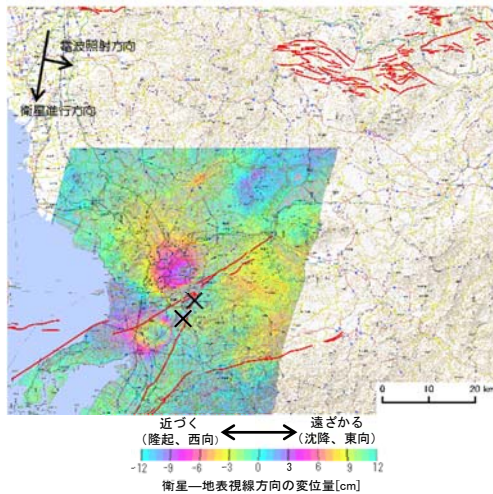
地震予知連絡会 SAR 解析 WG の活動により地震後の緊急観測要求を実施した。

データはだいち 2 号に関する国土地理院と JAXA の間の協定に基づき提供された。

国土地理院

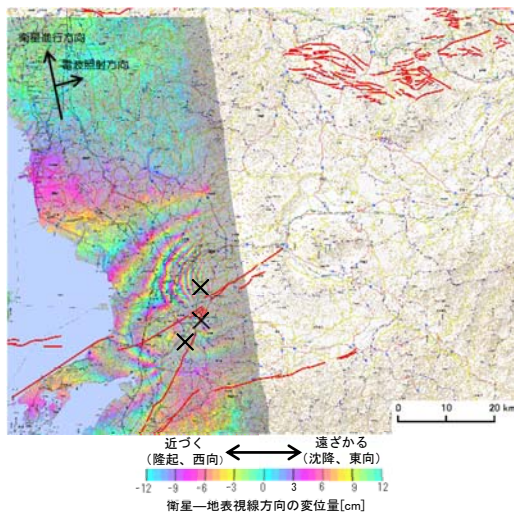
平成 28 年熊本地震 「だいち 2 号」による地殻変動分布図

(b)2014/11/14-2016/04/15

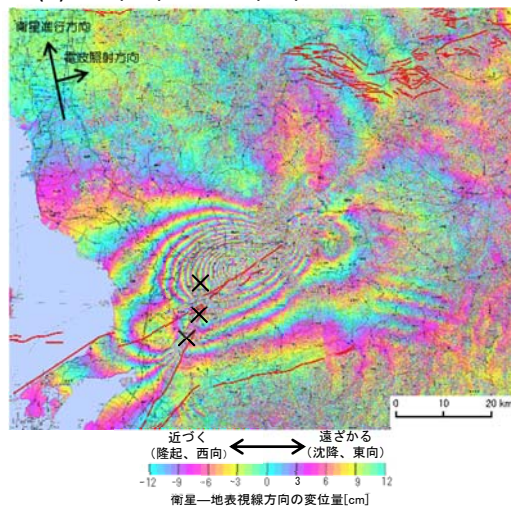


	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
地震前観測日	2016/3/7	2014/11/14	2015/5/18	2016/2/10	2016/1/26	2015/1/14
地震後観測日	2016/4/18	2016/4/15	2016/4/18	2016/4/19	2016/4/19	2016/4/20
観測時刻 (JST)	12:18 頃	12:53 頃	0:25 頃	0:46 頃	23:30 頃	12:59 頃
観測モード	高分解能	高分解能	高分解能	広域観測	広域観測	高分解能
偏波	HH	HH	HH	HH	HH	HH
衛星進行方向	南行	南行	北行	北行	北行	南行
電波照射方向	右	左	右	右	左	左
入射角 (中心)	36.3°	32.4°	50.7°	65.9°	43.6°	43.0°
垂直基線長	-124m	-104m	175m	54m	-186m	-3m
使用 DEM	GSI10mDEHMLJapan (飛田, 2009)					

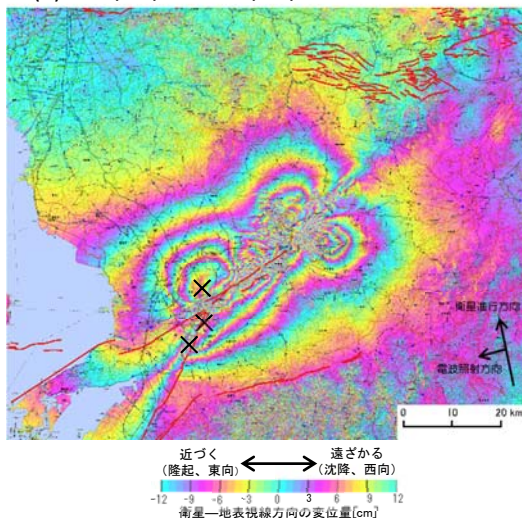
(c)2015/05/18-2016/04/18



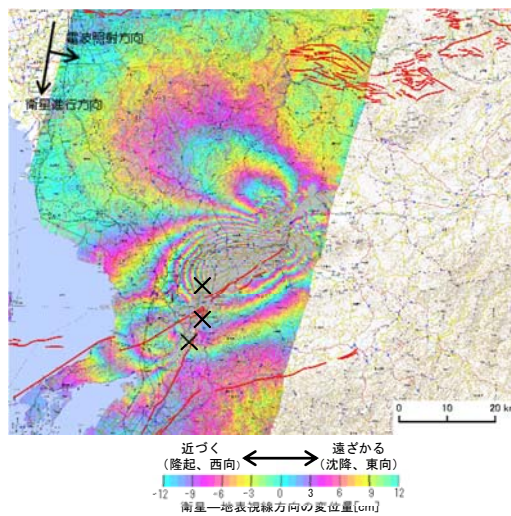
(d)2016/02/10-2016/04/19



(e)2016/01/26-2016/04/19



(f)2015/01/14-2016/04/20



解析：国土地理院 原初データ所有：JAXA

地震予知連絡会 SAR 解析 WG の活動により地震後の緊急観測要求を実施した。

データはだいち 2 号に関する国土地理院と JAXA の間の協定に基づき提供された。

平成28年熊本地震 「だいち2号」による地殻変動分布図

2.5次元解析結果

(a)と(d)の解析結果を用いて2.5次元解析を行い地殻変動の準上下成分と準東西成分を算出した。

- ・準上下成分（図1）は、布田川断層帯の北側で1m以上の沈降，南側では30cm以上の隆起となっている。
- ・準東西成分（図2）は、布田川断層帯の北側で東向きに1m以上，南側では西向きに50cm以上の変動となっている。
- ・やや正断層成分を含む右横ずれ断層運動であったことを示唆している。

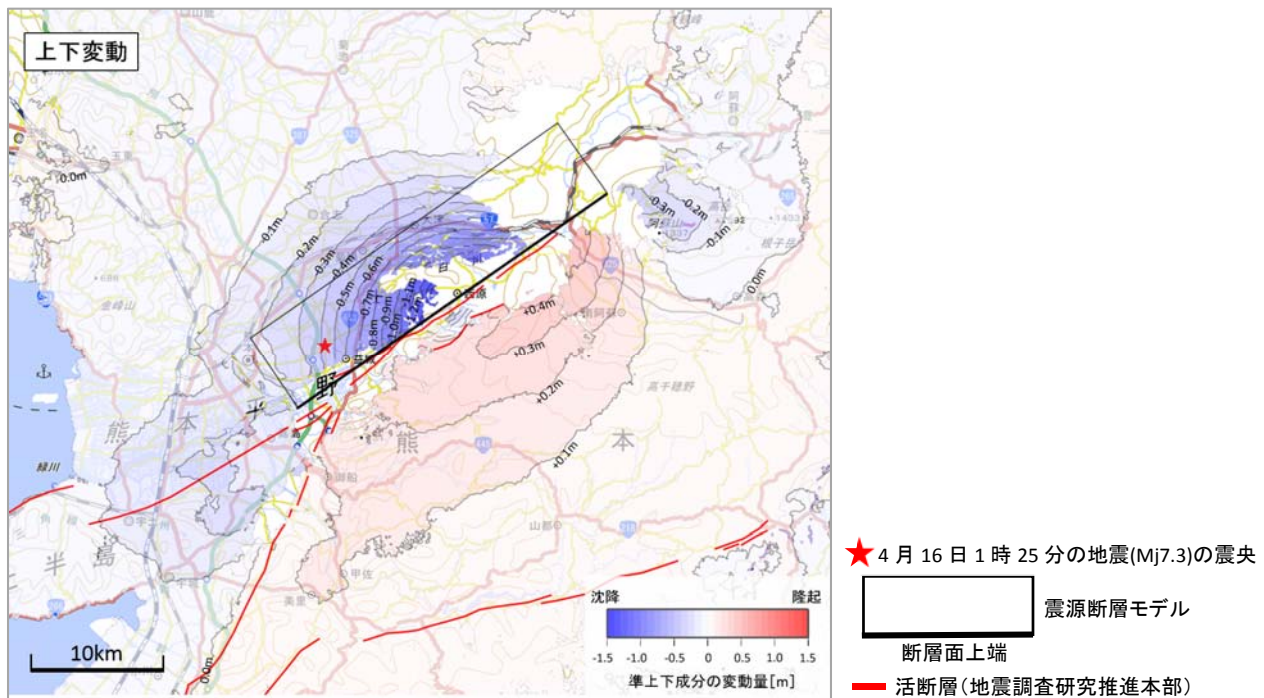


図1 地殻変動の準上下成分

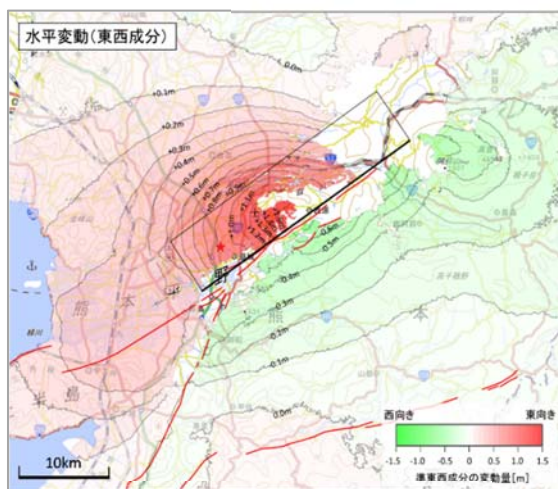
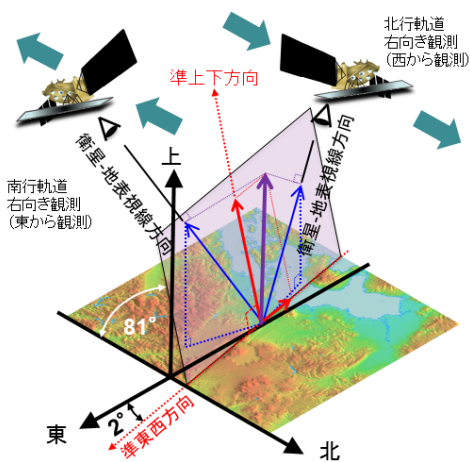


図2 地殻変動の準東西成分



解析：国土地理院 原初データ所有：JAXA

地震予知連絡会 SAR 解析 WG の活動により地震後の緊急観測要求を実施した。

データはだいち2号に関する国土地理院と JAXA の間の協定に基づき提供された。